

(2) 整理・報告作業

- ア 整理作業を実施した遺跡 18遺跡（事業数）
（R2年度調査分：10遺跡、H31・元年度以前調査分：8遺跡）
- イ 調査報告書を刊行した遺跡 1遺跡：1冊（報告書刊行のみ1遺跡）[資料2]

3 保存処理 [資料3]

(1) 木器保存処理

- ア 大型木製品 洗浄～記録作成(鈎)、トレハロース含浸 14遺跡(242点)
表面処理 18遺跡(222点)
- イ 小型木製品 洗浄～記録作成、トレハロース含浸 1遺跡(1点)

(2) 金属器保存処理

- ア 鉄製品 記録作成～修復 13遺跡(104点)
- イ 青銅製品 記録作成～修復 15遺跡(214点)

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、考古学・歴史学などの学習・研究資料として活用した。

(1) 保管

- ア 出土品・記録資料の保管
出土品1,852箱、記録資料10箱、A1図面ファイル21を収蔵庫及び資料保管室に保管（箱は54×34×10cm換算）
- イ 図書類の保管
2,300冊（購入83冊、寄贈2,217冊）の新着があり、蔵書数は84,538冊となった。

(2) 資料の活用・貸出・閲覧

- ア 出土品、写真等の貸出
貸出件数 29組織・団体・個人（出土品7,563点、写真・記録データ103点）
- イ 閲覧者数
資料室外部利用者（93人）、資料閲覧者（12組織14人）、入館者（14,254人）[資料4]
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月18日（月）～5月10日（水）休館
入館者数は上記期間を除いた実績数

5 普及啓発事業

調査成果の公開・活用や埋蔵文化財保護思想の普及啓発を目的に、発掘調査現地説明会や新潟県教育委員会との共催による企画展の実施、遺跡発掘地での県保有考古資料展示会、広報誌の刊行、体験学習受入れ等の事業を行った。また、財団が独自に国庫補助を受け、普及事業の充実に努めた。

(1) 普及啓発

【企画展】

- ア 春季企画展『縄文の巨木柱とマツリー糸魚川市寺地遺跡ー』
会場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：令和2年4月10日（金）～8月23日（日）

※4月18日（月）～5月10日（水）休館

内 容：新潟県指定文化財を含む糸魚川市寺地遺跡の縄文時代の出土品を展示。

観覧者：4,552人

イ 秋季企画展『越後争乱ノコトー発掘された白河荘ー』

会 場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：令和2年9月4日（金）～12月13日（日）

内 容：現・阿賀野市を中心に存在した白河荘（平安時代の終わりから室町時代）の遺跡出土品を展示

観覧者：6,242人

ウ 冬季企画展『発見！新潟の遺跡2020』

会 場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：令和2年12月25日（金）～3月28日（日）

内 容：新潟県教育委員会が行った最新の発掘調査の成果を出土品や写真で解説。
令和2年度に発掘調査や整理作業を行った縄文時代の村上市上野遺跡、古代～近世が主体の上越市下割遺跡、古墳時代の南魚沼市六日町藤塚遺跡など7遺跡を展示。

観覧者：2,201人

エ 常設展示

速報展示コーナーで縄文時代の村上市上野遺跡、古墳時代～室町時代の南魚沼市余川中道遺跡の展示を行うとともに、2階フロアスペースに時代の異なる3点（新発田市小船渡遺跡：平安時代、上越市虫川館跡：鎌倉・室町時代、妙高市坪ノ内館跡：江戸時代）の大甕を設置した。

【講演会】

会 場：新潟県埋蔵文化財センター（全9回）

参加者：延べ292人（R1年度：延べ910人）各回定員30人

第1回 シンポジウム『寺地遺跡のまつりと交流』（中止）

開催日：令和2年6月14日（日）

講 師：糸魚川市教育委員会 小池 悠介ほか

第2回 『土器から見た縄文時代晩期の糸魚川』（中止）

開催日：令和2年7月5日（日）

講 師：新潟県教育庁文化行政課 渡邊 裕之

第3回 『新潟県における縄文時代の漆工技術と寺地遺跡』

開催日：令和2年8月23日（日）

講 師：新潟県教育庁文化行政課 三ツ井 朋子

第4回 『阿賀北の中世遺跡について』

開催日：令和2年9月6日（日）

講 師：胎内市役所 水澤 幸一

第5回 『越後国白河荘をめぐる中世の人とモノ』

開催日：令和2年10月25日（日）

講師：明治大学 高橋 一樹

第6回 『中世越後の一括出土銭』

開催日：令和2年11月8日（日）

講師：柏崎市教育委員会 伊藤 啓雄

第7回 『白河荘の中世遺跡群』

開催日：令和2年11月29日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 春日 真実

【映像会】第5・6回講演会の映像会

開催日：令和2年12月8日（火）

【追加講演会】『寺地遺跡の巨木柱と丸木舟』

開催日：令和2年12月23日（水）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 荒川 隆史

第8回 『旧石器人の生活』

開催日：令和3年1月24日（日）

講師：新潟県教育庁文化行政課 沢田 敦

第9回 『新潟県の古墳時代』

開催日：令和3年2月21日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 滝沢 規朗

【少年少女考古学教室】

会場：埋蔵文化財センター（全4回）

内容：令和2年6月28日（日）縄文時代はどんな時代？-土器作り体験-
8月21日（金）遺跡に行こう！-発掘と縄文ポシエット作り体験-
10月18日（日）縄文人の技を体験しよう-石斧と土器煮炊き体験-
12月6日（日）まとめ発表会-展示準備をしよう-

参加者：延べ48人（R1年度：延べ51人）

【第24回 遺跡発掘調査報告会】

会場：埋蔵文化財センター

日時：令和3年3月7日（日）

内容：令和2年度の調査結果報告とシンポジウム「上野遺跡と土石流」、
講演会「上野遺跡の土石流」「県内の遺跡調査で発見された災害痕跡」

参加者：延べ31人（R1年度：中止） 定員30人

【発掘調査現地説明会】[資料5]

4遺跡で4回開催し、延べ443人が参加した。（R1年度：365人）

【校外学習・出前授業】

ア 学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援、指導者を派遣しての出前授業を実施した。

（校外学習26校1,496人、職場体験3校16人（複数日来館含む）、出前授業5校247人

(R1年度：校外学習36校2,455人、職場体験8校48人、出前授業12校522人)

イ 団体来館者への展示内容解説 6団体62人 (R1年度：17団体338人)

【まいぶん祭り】(中止)

会 場：埋蔵文化財センター

日 時：令和2年10月4日(日)

内 容：勾玉作り、土器でクリを煮る体験、クイズでガチャなどを予定していた。

参加者：(R1年度：607人)

【近隣施設等との協力事業】

ア 花と遺跡のふるさとフェスタ(第2回)(中止)

「花と遺跡のふるさと公園」エリア内の各施設、新津観光協会、秋葉区産業振興課が連携し合同主催となり、それぞれ特色のある催しを予定していた。埋蔵文化財センターでは、勾玉作り、クルミ割り体験、センター体験ツアーなどを予定していた。

日 時：令和2年6月7日(日) 9:30～16:00

参加者：(R1年度：888人)

イ フラワースタンプラリー(第11回)

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品(勾玉作りキット・9点)を進呈した。

期 間：平成2年4月11日(土)～令和2年6月14日(日)

(2) 広報誌・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』111～114号

刊 行：年4回(6・9・12・3月) 2,000部(各号)

配布先：小・中・高校・大学、市町村教育委員会、図書館、博物館、他関係機関

イ 『年報』

刊 行：年1回 30部・電子版をホームページで公開

配布先：発掘調査事業者、他関係機関

ウ 『発掘調査報告書』

刊 行：随時 300部

配布先：都道府県・県内市町村教育委員会、図書館、博物館、埋蔵文化財関係機関

エ 『研究紀要』

刊 行：随時 300部

配布先：都道府県・県内市町村教育委員会、図書館、博物館、埋蔵文化財関係機関

オ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、発掘現場の様子、「埋文にいがた」などの情報を掲示・配信した。

アクセス・閲覧数：ホームページアクセス数：21,954件(R1年度：22,382件)、

Facebook41,583件(R1年度：26,141件)、Twitter396,893件(R1年度：264,871件)

投稿数：Facebook161件(R1年度：88件)、Twitter163件(R1年度：88件)、メルマガ31件(R1年度：50件)

フォロワー・登録数：Facebook699件（R1年度：475件）、Twitter1,056件（R1年度：610件）、メルマガ 31件（R1年度：32件）

カ 年間パンフレット

埋文センターが行う普及事業を紹介する令和2年度年間パンフレット（20,000部）を作成し、来館者や県内外の博物館等の施設に配付して積極的な広報を展開した。

6 会議等

(1) 評議員会

ア 定時評議員会

日 時 令和2年6月16日（火）

※定款第22条（決議の省略）により、文書による同意

付議事項 令和元年度事業報告及び決算報告、役員の変更

(2) 理事会

ア 第1回定例理事会

日 時 令和2年5月29日（金）午前10時から

※定款第39条（決議の省略）により、文書による同意

付議事項 令和元年度事業報告及び決算報告、任期満了に伴う次期役員候補者の推薦、定時評議員会の開催、派遣職員給与規程の一部改正

イ 臨時理事会

日 時 令和2年6月16日（火）

付議事項 理事長及び専務理事の選定

※定款第39条（決議の省略）により、文書による同意

ウ 第2回定例理事会

日 時 令和3年3月24日（水）午前10時から

会 場 新潟県自治会館 901会議室

付議事項 令和2年度事業計画の一部変更、令和2年度収支補正予算、令和3年度事業計画及び収支予算、評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦

(3) その他の会議等

ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会（全埋協）

総 会 令和2年6月11日 WEB開催（京都府）

役員会（第1回） 令和2年5月15日 書面開催（大阪府）

役員会（第2回） 令和2年12月3・4日 （神奈川県）

中部・北陸ブロック連絡会 令和2年10月15日 書面開催（愛知県）

イ 北陸五県協議会 令和2年12月10日 書面開催（滋賀県）

7 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施した。また、要請に応じて市町村等への発掘調査技術指導等を行った。

(1) 市町村等発掘調査技術指導等

15団体からの依頼で、埋蔵文化財の調査研究（専門研修会講師、調査指導・助言、委員会委員等）、普及（報告、講演等）に関連した事業に延べ22回の協力を行った。

(2) 職員研修

ア	文化庁埋蔵文化財担当職員講習会	令和2年8月26日	オンライン配信
		令和3年2月3日	オンライン配信
イ	埋蔵文化財専門職員実務研修①	令和2年12月11日	埋蔵文化財センター
	〃 ②	令和3年2月18・19日	新潟県庁

(3) 安全衛生研修等

ア	救急法講習	全職員を対象とした救急法の講習
期 日		令和2年11月6日（金）
内 容		救急法、基礎講習（きず、骨折の手当等）
講 師		日本赤十字社新潟県支部 指導員
イ	防災訓練	災害時の行動、消防設備等の使用方法等についての講習・訓練
期 日		令和2年11月6日（金）
内 容		通報訓練、避難訓練、非常呼び出し訓練、消火器・消火栓放水訓練
講 師		（消防設備点検委託業者）新潟ニッタン(株)